



佐渡ジオパーク

トキふれあいプラザでは定期的にトキの検査をしています

トキふれあいプラザでは毎年冬の時期に飼育しているトキを捕獲し、定期検査を行っています。

検査の内容は、血液検査や体重と体長の測定などです。

新たに生まれた子供のトキの性別もこの血液検査で判明します。

子供たちが成長すると放鳥されるトキの候補として、野生復帰ステーションで飛行やエサを採る訓練を行うこととなります。

また、トキが検査を受けるこの時期にあわせて施設の改修や木の剪定なども行われます。



トキを捕獲し、血液検査のための採血をする様子

「トキ」の情報をお寄せください



サドッキー

野外に生息するトキは島内各地を移動し、普段トキが見られない場所で行動することがあり、皆さまからの目撃情報が貴重な情報源となります。

トキを見かけた際にはトキ交流会館へお気軽に情報をお寄せください。フリーダイヤル

☎0120-980-551

■ご寄付ありがとうございました

トキ環境整備基金に佐渡トキの田んぼを守る会様（佐渡市）、(株)藤井商店様（西蒲原郡弥彦村）、網島美枝子様（東京都大田区）からご寄付をいただきました。

いただいたご芳志は、トキの野生復帰や生息環境の整備に使わせていただきます。

◆市役所農林水産課農業政策室

トキ政策係（トキ交流会館内）

☎24-6040

### 『地名からジオを考えてみよう』

地名には地形の特徴を表わしてつけられているものがあります。今回は地名の由来が地形と関係している例を紹介いたします。

一般的に高台や山の上に田畑が作られる平らな土地で、農業を営む地域に「上野」と名付けられることがあります。佐渡では小木に「上野」という地名が残っています。

また、地図には載っていませんが、外海府に2カ所あります。1つは北田野浦集落の南に位置する高台の土地と北田野浦集落から5kmほど北に位置する小田集落近くの高台です。これらは古文書に「上野」と記されています。

これら3カ所の共通点は、「海成段丘」でできた土地ということ。波で浸食された平らな面が地震などで持ち上がり、海から出た台地を海成段丘と呼びます。

そのほか、土地の特徴から名付けられる例として、内陸地域でも河や舟などの文字が使われている地域があります。目の前に川や海がなくても、時代をさかのぼっていくと、当時は川や海が広がっていたのかもしれない。東日本大震災後、防災の

面からも地名は見直されています。なお、佐渡の上野は岩野から変化した可能性もあり、由来には諸説があります。



古文書で上野と記されている小田にある海成段丘面今は水田が広がっている

◆市教育委員会社会教育課

ジオパーク推進室

（畑野行政サービスセンター内）

☎66-4160